

第三国定住難民の健診データ分析研究について

平成30年2月2日

国立研究開発法人国立国際医療研究センタートラベルクリニック

国立研究開発法人国立国際医療研究センタートラベルクリニックでは、以下にご説明する研究を行います。この研究への参加を希望されない場合は、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し付けください。お申し出になられても、いかなる不利益も受ける事はありませんので、ご安心ください。

1. 研究の対象と期間

(対象)2011年10月、2013年10月、2014年10月、2015年10月、2016年10月に当院トラベルクリニックで実施した第三国定住難民の入国時健康診断を受診された方
(期間)理事長承認日～2018年12月

2. 研究目的・方法

本研究で、第三国定住難民の入国時の健康状態を明らかにすることにより、近年増加している移民・難民の健康診断の実施の有用性を明確にすること、必要な検査項目を検討することができると予測されます。

健康診断のデータで疾病の傾向等を分析します。

氏名、患者番号、生年月日はデータから削除し、個人が特定できないよう配慮します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

健康診断の結果から検査結果、年代、性別を抽出し、研究に使用します。

4. ご協力いただく内容

すでに受診された健康診断のデータを分析するため、新たに依頼する事はございません。

5. 個人情報の保護と外部への試料・情報の提供

上記の対象期間中に受診された健康診断の結果を研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が認めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない状態で行います。

資料は、鍵付きの引き出しで保管し、破棄する際は、データを復元できない状態にして破棄致します。研究データは、研究責任者が保管・管理します。

6. 研究組織

研究責任者・所属: 金川修造・国立国際医療研究センタートラベルクリニック(医長)

共同研究者・所属: 富田茂・高田馬場さくらクリニック(院長)

共同研究者・所属: 二見茜・国立国際医療研究センター国際診療部(特任研究員)

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護、研究の独創性に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

未成年の方では、保護者の方からの研究不参加のお申し出やお問い合わせに対しても、ご対応いたします。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1

電話番号: 03-3202-7181(代表)

研究責任者: 金川修造(内線:5240) skanagawa@hosp.ncgm.go.jp

共同研究者: 二見茜(内線:4413) afutami@hosp.ncgm.go.jp

-----以上

※ ミャンマー語の翻訳は、院内で対応できないため外部委託となります。一度翻訳してから修正を依頼すると追加料金がかかってしまうため、倫理委員会にこの日本語の公開文書が承認され、修正がないことを確認してから、翻訳依頼をする予定です。

※ 本情報公開文書は、国際医療研究センターの国際感染症センター(DCC)のホームページに掲載します。